

第5章 和音の機能

第1節 和音の機能

機能和声では主和音（I度）をトニック（主体の意）とよび、Tであらわす（IV度和音がTとなる場合もある： $IV\frac{6}{4} \rightarrow I$ ）。

属和音（VまたはVII度）をドミナント（支配するの意）とよび、Dであらわす。 $I\frac{6}{4} - V$ の連結は、この2つの和音でドミナントと考える。

ドミナントの前に配置される和音をプレ（前）ドミナントとよび、PrDであらわす。

IV度和音（またはときおりII度あるいはVI度和音）からT（主和音）へ連結するものをプラガル（変格）とよび、Plであらわす。

ハ長調 T Pl → T PrD → D PrD → D T D T PrD → D → T Pl → T

$\frac{6}{4} \rightarrow 5$ の連結は、2つの和音をもってひとつのDとみなす。

練習 以下の譜例にT、PrD、Plの機能を書き、和音数字を付けなさい。また、ローマ数字で和音の度数を書きなさい。

1

2

和音連結をグループ化したものをカデンツとよぶ。